

郵政民営化委員会（第284回）議事要旨

日 時：令和7年3月24日（月）13:30～15:20

場 所：郵政民営化委員会室（永田町合同庁舎3階）及びオンライン

出席者：山内委員長、関口委員長代理、甲田委員、佐藤委員、横前委員
（敬称略）

日本郵政株式会社 加藤代表執行役副社長、一木常務執行役、
野水経営企画部付部長

日本郵便株式会社 行木執行役員、松岡執行役員

株式会社ゆうちょ銀行 植田営業統括部執行役部長

株式会社かんぽ生命保険 能登執行役

1. 議事

- ・株式会社かんぽ生命保険の新規業務の届出について
- ・日本郵政株式会社のゆうちょ銀行株式の処分について
- ・日本郵便株式会社の子会社（JW T株式会社）によるトナミホールディングス株式会社の株式に対する公開買付けの開始について
- ・非公開金融情報の不適切な利用等について

2. 委員会での説明・意見等

○ 株式会社かんぽ生命保険の新規業務の届出について【資料284-1-1～2】

- ① 3月11日に株式会社かんぽ生命保険から金融庁・総務省へ届出があり、金融庁・総務省から届出の通知を受けた新規業務（資産の運用方法の拡大）について、資料に基づき、事務局より説明。
- ② 委員からの主な意見等
 - ・「株式会社かんぽ生命保険の新規業務に関する届出制の運用に係る郵政民営化委員会の方針（令和3年10月）」等に則り、調査審議が必要かどうかを審議した結果、今回の届出は、他の生命保険会社との適正な競争関係や利用者への役務の適切な提供を阻害すると認められるものではないと考えられるため、調査審議を行う必要はないと判断した。

○ 日本郵政株式会社のゆうちょ銀行株式の処分について【資料284-2】

- ① 資料に基づき、日本郵政より説明。
- ② 委員からの主な意見等
 - ・ゆうちょ銀行株式の処分で、6,000億円程度の売却収入がでる。その売却収入を成長投資に充てるとのことだが、どのような分野に投資する予定か。
（⇒（日本郵政）M & Aに加えて、中期経営計画で、荷物・貨物の輸送を増やしていく計画としており、老朽化した区分機の高度化、荷物・貨物の処理スペースを広く確保するための集配局の改築等を通じ、省力化しつつ、より多くの荷物・貨物を運べるようにしたいと考えている。）

○ 日本郵便株式会社の子会社（JW T株式会社）によるトナミホールディングス株式会社の株式に対する公開買付けの開始について【資料284-3-1～2】

- ① 資料に基づき、日本郵便より説明。
- ② 委員からの主な意見等
 - ・今後、統合プロセスを進めていく中で、100%民間でできあがっているトナミと、JPグループの考え方は必ずしも一致しない、違うのではないかということで、これに対しては継続的に対話をする必要がある。今後、人口減少等、物流業界を取り巻く環境が変化する中で、初動はよかったが、シナジーが得られ

ないということのないようにしていただきたい。

○ 非公開金融情報の不適切な利用等について【資料284-4～5】

- ① 資料に基づき、日本郵政グループより説明。
- ② 委員からの主な意見等
 - ・ 数字に偏らない評価方法は競争意識を緩和する観点では理解するが、それで業績を適正に反映できるのか。
 - （⇒ （日本郵政）我々も評価方法を模索中であるが、例えば、顧客との信頼関係を営業に繋げられれば、その点を評価することが考えられる。今後、そうした好事例を探って評価方法を検討してまいりたい。）
 - （⇒ （日本郵便）当社は郵便・貯金・保険の3つを組み合わせるため、評価方法が複雑になるが、この点に取り組まなければ問題が解決しないと認識しているので、しっかり取り組んでまいりたい。）

－以上－

注）議事要旨は事後修正の可能性があるのでに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。